



# 第36回近畿高等学校バスケットボール新人大会

## 個人トータル表

<b>女子</b>	令和8年2月14日	15:50 開始
<b>2回戦</b>	グリーンアリーナ神戸	C

◎ 京都精華学園 120	<table border="1"> <tr><td>29</td><td>1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>34</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>28</td><td>3rd</td><td>10</td></tr> <tr><td>29</td><td>4th</td><td>11</td></tr> </table>	29	1st	19	34	2nd	16	28	3rd	10	29	4th	11	56 好文学園女子
29	1st	19												
34	2nd	16												
28	3rd	10												
29	4th	11												

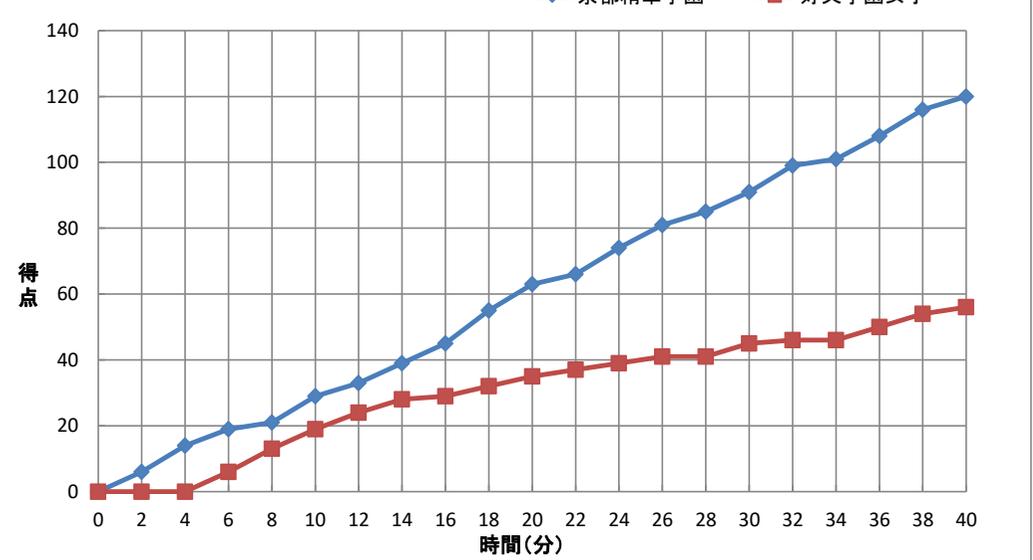
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	吉田 ひかり	7	0	3	1	0	7	高津 菜尋	0	0	0	0	1
* 5	満生 小珀	6	0	3	0	1	* 8	藤村 理音	5	0	2	1	4
* 6	ンガルラ ムクナ リヤ	24	0	11	2	0	9	柿澤 優衣	19	4	3	1	2
7	高山 留里那	9	0	3	3	1	10	古田 琉海	0	0	0	0	5
* 8	谷 彩南	16	4	2	0	1	* 11	杉田 紗彩	4	0	2	0	1
9	石井 日菜	4	0	1	2	1	* 12	後藤 稀泉	19	1	5	6	1
10	速水 純里	2	0	1	0	0	13	井川 陽悠	2	0	0	2	0
11	堀 心優	0	0	0	0	1	* 14	松本 夏美	5	1	1	0	1
12	松居 ことほ	2	0	1	0	0	* 15	加藤 舞桜	2	0	1	0	3
13	長瀬 萌々奈	0	0	0	0	1	17	柴山 かれん	0	0	0	0	0
14	田中 鈴音	5	0	2	1	2	18	田中 心実	-	-	-	-	-
15	田中 里旺	4	0	2	0	2	19	石川 桜来	0	0	0	0	0
16	大木 一樺	0	0	0	0	3	20	宮本 凜	-	-	-	-	-
* 17	石綿 文	8	0	4	0	1	21	正峯 玲瞳	-	-	-	-	-
18	オディア カウエル リツ	33	0	16	1	0							
コーチ	山本 綱義						コーチ	阿部 学					
Aコーチ	豊田 薫						Aコーチ						
合計		120	4	49	10	14	合計		56	6	14	10	18

クルーチーフ: 赤井 正史

1stアンパイア: 長瀬 大空

2stアンパイア: 中川 緋菜

## 得点経過



TO	1・2Q	3・4Q		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	19:58	:	:	:	:	:	:
TeamB	2:56	14:28	24:50	31:36	:	:	:

## 〔戦評〕

【第1Q】京都精華は序盤から#4 吉田のスピードと#6 ンガルラの高さを生かしたオフェンスで得点を重ねる。さらに厳しいディフェンスから相手のミスを誘い速攻につなげるなど、連続得点を重ね残り5分で14-0と一気に流れをつかんだ。好文学園は序盤単発なシュートが多く、なかなかリズムが掴めず立ち上がり4分間無得点であったが、#12 後藤と#14 松本の連続3Pシュート、#12 がオフェンスを組み立て#9 柿澤の3Pで残り2分21-13まで追い上げる。しかし、京都精華#18 オディアにリバウンドを支配され、29-19で第1クォーター終了

【第2Q】京都精華は#18のリバウンドシュートで着実に得点を重ねる。対する好文学園は#9の3P、#12のステップインで得点を重ね、残り6分37-28と一進一退の戦いとなった。しかし、京都精華の高さと厳しいディフェンスに好文学園は攻めあぐね4分間ノーゴールとなる。その間、京都精華は#14 田中、#18 がバスケットカウントを決め一気にリードを広げ、63-35として前半終了

【第3Q】好文学園は、京都精華のディフェンスを切り崩したところを#15 加藤、#8 藤村がジャンプシュートを決め、京都精華に追いつく。しかし、京都精華のスピードと高さ溢れるオフェンスを止めることができず、91-45で第3クォーター終了。

【第4Q】京都精華は途中出場の選手たちが、生き生きとオフェンス・ディフェンスを繰り広げ、着々と得点を重ねる。劣勢の好文学園は#8、#9が最後までリングに向かって攻め、気迫を見せる。しかし、京都精華は#8が3連続3Pシュートを決め、120-56で京都精華が準決勝に進出した。

戦評: 寺西 友理

記録: 県立明石高等学校